

## 隊員自主募集で予備自に賞詞

埼玉地本（本部長・山野一等空佐）は7月29日、大宮駐屯地にて、予備自衛官1日間招集訓練を実施した。1日間訓練は、自衛隊を退職後、1年未満で予備自衛官に採用された者が対象の訓練であり、女性1名を含む21名が参加した。

訓練担当である埼玉地本笠木予備自室長は、訓練に参加した予備自衛官に対し、予備自衛官制度等や次年度からの5日間訓練の概要を説明するとともに即応予備自衛官の志願資格保有者には、同制度の重要性を認識させた。

また、同訓練に併せて、隊員自主募集に功績のあった予備自衛官に対する表彰を行った。本吉剛之予備陸士長は、第102野外病院隊（朝霞駐屯地）に所属していた現職時に、知人2名の志願者情報を神奈川地本に提供し、この2名が本年4月に入隊しており、その功績により第5級賞詞を受賞した。

隊員自主募集の表彰対象には、予備自衛官等も含まれており、近年の厳しい募集環境の中、民間での募集広報活動が期待されている。山野本部長は、訓練参加者に対し、本吉予備陸士長を範とし、自衛官募集でも自衛隊への協力をお願いすると呼びかけた。



本吉予備陸士長に賞詞を授与する山野本部長  
（7月29日、大宮駐屯地にて）

## 予備1等陸佐に採用辞令書を交付

埼玉地本（本部長・山野一等空佐）は8月20日、埼玉地本本部において、8月15日付で採用になった予備1等陸佐に対して辞令書を交付した。1等陸佐の予備自衛官採用は今年度から開始され、東部方面隊では初の採用者のうちの1人である。

今回辞令書の交付を受けたのは、元関東補給処装備計画部 業務指示課長の吉原和宏予備1等陸佐で、山野本部長が辞令書を交付後、「予備自衛官等の活躍の機会は益々増えており、活躍を大いに期待しています。」と激励すると、吉原予備1等陸佐は、「有事には常に対応できるように準備していきます。」と抱負を語った。

吉原予備1等陸佐は、普通科連隊長の経験もあり、本年10月に実施される自衛隊記念日観閲式には、予備自衛官部隊の部隊長として参加することが予定されている。

採用早々の大役に、吉原予備1等陸佐は、「観閲式に選ばれた予備自衛官の方々と、主体的に練成を行い、予備自衛官の威容を披露したい」と意欲的な姿勢を覗かせていた。



吉原予備陸1佐に辞令書を授与する山野本部長  
（8月20日、埼玉地本本部にて）